



感染対策ガイドラインに則った イベント運営方法マニュアル



2020年 9月1日
株式会社 運動会屋

1. はじめに	・・・P2
2. 各所オペレーション	
A) イベント全般向け	
① 点呼～荷卸し～搬入編	・・・P4
② エレベーター搬入編	・・・P5
③ スタッフ備品、スタッフ荷物管理編	・・・P6
④ 諸室セッティング編	・・・P7
⑤ 本部、備品置き場、備品セッティング編	・・・P8
⑥ 参加者受付フロー編	・・・P9
⑦ スタンド席、飲食編	・・・P10
⑧ ゴミ処理全般	・・・P11
B) 運動会・スポーツイベント向け	
① 応援席、待機スペース（アリーナ内）	・・・P13
② アリーナ集合時～開会式・閉会式～競技前後	・・・P15
③ 備品関連の消毒	・・・P16
3. 運営制作物関係（サイン等）	・・・P17
4. 項目別ガイドラインチェック表	・・・P20

日本国内における、新型コロナウイルスの感染拡大によって、2月以降、各地で開催予定だった、大小さまざまなイベント（“リアルイベント”と呼びオンライン関連のイベントと差別化）が延期（実質的な中止）、中止を余儀なくされる事態となっています。

緊急事態宣言の解除以降、6月から7月にかけて、秋冬あるいは、年明け以降のイベント開催に向けた動きがやや見られるようになってはきたものの、東京都をはじめとした、今後の各地の感染拡大状況如何によって、さらなる自粛ムードの蔓延等も考えられ、いままで日常にあり続け、ふつうに行われてきた、みなさまが楽しみにしていた、さまざまなイベントが、いったいいつになったら開催できるようになるのか。やりきれない、煮え切らない日々を過ごされていることと存じます。

そしてまた、イベント関係のみならず、あらゆる業界が、この自粛の空気によって、大きな経済的ダメージを被っております。

このような状況のなか、我々にできることは何か。

いままでどおりの、みなさまの日常にあった“イベント”を開催できるようになるためには、その日常を取り戻すには、ご参加いただくみなさまが“感染”の心配から解放されつつも、主催者ともども適切な感染対策を施し、感染拡大リスクを最小限におさえ、“安心、安全”にその時を過ごしていただけるようにすること、そのための方法を見出し実現することだと考えております。

これらを踏まえ、内閣官房よりリリースされた81業種のガイドラインをもとに、イベントの開催に際し各業務における基本的な感染防止対策の基準を策定し、オリジナルのガイドラインにまとめました。

加えて、このガイドラインに基づき、過去2度の実地検証を行い、これらを可視化し、分かりやすく伝わりやすい“イベント仕様”のガイドライン運営方法マニュアルを作成いたしました。

この『感染対策ガイドラインに則ったイベント運営運営マニュアル』がみなさまにとって有益なものとなり、イベント開催に向けたご検討の一助となれば幸いです。そして、イベント開催にあたりましては、感染拡大防止対策について、主催者のみなさまのご理解の上、ご協力いただきますようお願いいたします。

2. 各所オペレーション

A) イベント全般向け

① 点呼～荷卸し～搬入編

オペレーション手順

[1].朝の点呼時、スタッフ全員に手指消毒、検温を実施
 37.5℃未満のスタッフは次の準備へ
 37.5℃を超えたスタッフは、帰宅指示



[2].車両から備品を卸す前に、スタッフ全員が
 マスク着用および、手指を消毒（ブースを1カ所以上設置）
 スタッフは、しっかり両手に消毒液を浸透させる
※マスク、手袋（任意）は予備を一定量用意する

[2] 出入口前
 （運営スタッフ集合、点呼場所）



[3].[1]、[2]の手順を完了後、車両から備品を卸し、搬入する

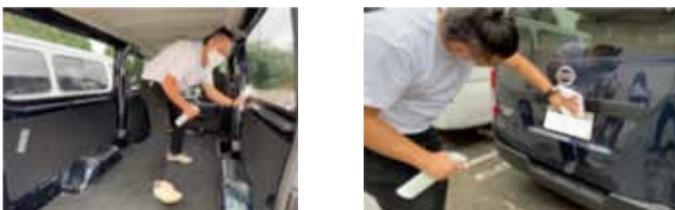


[4].スタッフは、備品を卸したら、次の備品の搬入に取り掛かる際、必ず再度手指の消毒作業を行う

※[2]、[3]、[4]の手順を繰り返し搬入作業を完了。



[5].荷卸し、搬入完了後、車内の噴霧消毒、ドアノブの消毒（ふき取り）を実施



② エレベーター搬入の場合

オペレーション手順

[1].エレベーター搬入の際は、スタッフの基内人数を、広さに応じて密接しない距離感を保てる人数に調整する



[2].搬入の都度、および搬入完了時、手指の触れた部分（ボタンなど）のふき取り消毒を行う

